



Level B



Janica Southwick

TRACK 26 Comparing and contrasting Japanese and U.S. TV

Hello and welcome to “Trivia Time.” I’m Janica Southwick, your host and I sure am happy that you have joined me once again. Today, I want to talk about Japanese TV **versus** TV in the States. Today, I am going to note differences that I have **noticed** in my 13 years of living in Japan.

When I first came to Japan, I was shocked to see all of the “variety TV programs.” Ten plus years ago, **the bulk of** the U.S. TV I was **accustomed to** was TV dramas and **sitcoms**, with a few **game shows** and talk shows. On odd hours of the day, or on non-major channels, I would see a cooking show. There has been some changes in the past ten years and **gradually**, U.S. TV is taking on more **reality TV shows** and cooking shows, like Japan. Let me give you some of my thoughts!

TRACK 27 Cooking shows

One thing that I thought was humorous and interesting when I first discovered Japanese TV in the 90’s is people’s **infatuation** with food. Every channel I turned on seemed to be a “variety TV program” and so many programs had people eating. I had never seen so many food related programs! Enjoying the latest **cuisine**, traveling and eating food, cooking lessons, competitions cooking food, food special programs ... “How could a nation with so many TV programs **focused on** food maintain such thin people?” I asked myself.



LISTENING POINTS 今月は、アメリカと日本のテレビ番組の違いについて。ジャニカいわく、日本のテレビの特徴は「食べ物」を扱う番組が多いこと。そして独特の笑いを求めるバラエティー番組やタレントが輪になって映像を見ながら答えるクイズ番組。一方、現在のアメリカのテレビの主流は「リアリティー番組」。手間と高額な製作費を要するドラマに比べ、台本やセットもいらず低予算で作れることが魅力のよう。この傾向はしばらく続きそうだ。CDを聞いて質問に答えよう。(答えはコーナーの最後にあります)

- ① アメリカの料理番組に革命を起こした番組のタイトルは何か？
- ② アメリカのテレビを変えたリアリティー番組のタイトルは何か？

compare ㊦～を比較する

versus ㊦～対

notice ㊦～に気がつく

the bulk of ～の大部分

be accustomed to ～に慣れている

sitcom ㊦ホームコメディ

game show クイズ番組

gradually ㊦しだいに

reality TV show リアリティーテレビ番組（一般の人の現実の生活やプライベートを撮ったホームビデオなどで構成される低予算番組）

infatuation ㊦夢中になること

cuisine ㊦料理

focus on ～に焦点を合わせる

日本とアメリカのテレビ番組を比較する

こんにちは、そして“Trivia Time”へようこそ。ホストのジャニカ・サウスウィックです。みなさんがまた聞いてくれて、とてもうれしいです。今日は、日本とアメリカのテレビ番組について話をしたいと思います。今日は、日本に13年間住んで気がついた違いをお話ししましょう。

最初に日本に来た時、あらゆる“テレビのバラエティー番組”を見て、とてもショックを受けました。10年以上前、私が見慣れていたアメリカのテレビ番組の大半はドラマやホームコメディで、それにクイズ番組やトークショーが多少あるくらいでした。私はよく人々がテレビを見ない時間帯やマイナーチャンネルで、料理番組を見ていました。ここ10年で次第に変化し、アメリカのテレビも日本のように、徐々にリアリティーショーや料理番組が増えてきています。そこで私の考えていることを少しお話ししましょう！

料理番組

私が90年代に初めて日本のテレビを見るようになった時にユーモラスで興味深いと思ったことの1つは、食べ物に対する人々の心酔でした。どのチャンネルを回しても“バラエティー番組”をやっていて、とても多くの番組で、人々が食事をしていました。私はそれまで、食べ物に関連したテレビ番組をこれほどたくさん見たことはありませんでした！流行の料理を楽しんだり、旅行をしながら食べたり、料理の作り方を紹介したり、料理を作る大会があったり、料理の特別番組があったり…「テレビ番組でこれほどたくさん食べ物扱っている国なのに、なぜみんなこんなにやせているの？」と自問しました。